

# まち運営会議(第145回)議事録(概要) 案

令和6年5月23日 18:30～20:00

自由ヶ丘エヌケービル3F 会議室

議長 卯月盛夫

## 議題 報告事項

- 1. 2023年度の活動報告 街並み形成委員会
- 2. 自由ヶ丘スタイルの自転車との付き合い方を考える まち構造研究会
  - 店さき・ちよこっと駐輪のあり方を中心に
- 3. その他

\*配布資料はなし。スライドの資料をホームページにこの議事録概要と併載します。

- ご出席ありがとうございます。代表は遅刻か場合によって欠席するとの連絡がありました。本日もよろしくお願いいたします。
- 議長 第145回自由ヶ丘のまち運営会議を始めます。

## 1. 2023年度の活動報告

- 林 昨年度の活動の内容を表で示します。一戸建て住宅は敷地を分割した物も含めて、比較的小さな敷地のものであった。共同住宅等は準防火地域の建ぺい率10%緩和を利用したものが多く、緑化が抑えられている。なぜか商業地の店舗・広告の届はなかった。その他に自由ヶ丘学園からの1件がある。

自由ヶ丘学園が男女共学になって女性向きの対応が必要になり新校舎を南側の道路をはさんで建てて道路上に渡り廊下をつくる計画が進んでいる。生徒の安全上の観点から区からも許可を受けている。地元住民の一部から、空を隠す、圧迫感を生じるなど景観に問題があるとの意見が出て学校に説明を求めている。学園は計画はかなり進んでいるので、渡り廊下の設置はしたいと言っているのが現状である。

- 建築的には上空通路ということではよいか。

- 林 そうだ。その設置にはいくつかの許可基準がある。

- 学園との話し合いに参加したが、地元の人たちは設置は景観的に良くない。5m弱の道幅なら道路を横断しても高校生には問題ないと思う。学園側は区の許可がおりていると言って、地元と協議するようではなかった。街並み形成委員会が「こういう話があります」と地元の声をかけてもらい

類別・建築用途	2023年度件数		2022年度件数	2021年度件数
一戸建て住宅	10	宅地 100㎡未満3件 100-110㎡4件	11	13
長屋建て住宅	3	すべて2戸、二世帯など準防火地域建ぺい率+10%が多い	2	6
共同住宅	4	3-4階建てのもの ①3戸 ②9戸 ③11戸 ④24戸 準防火地域建ぺい率+10%が多い	5	6
商業・業務ビル	0		1	4
商業・業務・住宅複合ビル	0		1	3
店舗などの改装(ビルの一部)	0		4	2
その他の建築	1	自由ヶ丘学園の新校舎、道路上空渡り廊下(協議継続中)	0	0
広告物の改装、新設	2		7	7

たかったと言っていた。

●林 こういう計画があると聞いていたが、学園から委員会に協議の届出がなかった。工事看板は立てられているが、渡り廊下が何㎡と書かれているだけで一般の人には分かりにくいと思う。委員会として絵を掲示してほしいとお願いしてある。来月中にはできるとのことである。

●渡り廊下の使用目的や利用量について知りたい。

●林 高さ10m未満の新校舎に6教室と最上階に小体育館がある。10分間の休み時間に何百人、1日で2千人位が移動するので、学園は道路横断にするとコントロールできないという。地下道案も検討したが種々の難点があった。まだ渡り廊下の最終案はできていない。

●議長 作らないということは現段階では難しいと思う。安全で美しいものになるように委員会と学園で協議を続けたらと思う。現状はどうなっているか。

●林 渡り廊下自体とその両側の敷地のデザインがスッキリして、見通しもよく歩行者も楽しめる緑化になるよう協議している。いま南側の学園所有の古い建物を解体中で、建築工事は10月から始まり来年秋に完成予定である。

●委員会は学園とこれまでに2回、少し突っ込んだ協議をした。学園はこちらからの設計変更案を検討中である。学園は設計の最終決定後にはまち運営会議に出て説明してくれるかもしれないが、現状では応じないだろう。しかし、皆さんの意見等は林さんを通して学園に伝えたい。

学園は学園通り側をセットバックして緑化し、歩行環境の改善に寄与した。昨年の表彰で委員会に届が出されなかったので学園には街並み貢献賞を与えて評価した。この渡り廊下の件でも届出が遅かった。こちらの事務的ミスもあったが、委員会の把握は区の許可のおりた後だった。上空通路の計画が区に出された時に、区は警察・消防と協議会をつくり、関係機関の意見が一致した場合に限り建築許可を出すことになっている。協議会では道路横断も検討されたが警察が生徒の安全性を重視したようで協議会は建築許可を出した。

10数年前にヤマダ電機の東側の道路に駐車場に入る自動車が多数待機していて、交通事故がおきたら困ると近隣の人たちと一緒にしつこく交渉して、敷地内に待機用の通路ができた。高校生の道路横断中でも事故は起こりうる。万一起きた時に、責任は学園にもあると思うが、学園は渡り廊下をつくる計画をしたのに街並み形成委員会や地元住民の一部が区の許可を翻した反対運動にあって建築できなかったとなると、こちらにも責任が生じるのではないかと危惧している。いま街並み形成委員会は先ほど林さんが説明したように対応している。完成予想図を6/20までに委員会に出してもらい検討・協議した後に工事現場に最終的な絵を貼りだす予定である。

●議長 次回6/27のまち運営会議で、その時点の進捗を説明してほしい。玉川聖学院もブリッジがある。道幅が広く、両側の校舎も道路境界からかなり引いている。ブリッジが悪いのではなく、景観に配慮した作り方、デザインが大事である。自由ヶ丘学園の件でも、いろいろな制約はあるが、これからのことも考えて議論はしておいたらよいと思う。

●街並み形成委員である。委員会は渡り廊下をつくることを前掲に対応している。最初に学園から出されたパース(絵)はやばったかった。学園は委員会の意見を受けてパースをつくり直している。

●係長 知らなかったので区に関連したことを前もって調べてない。お話することはない。

●学園は地域の避難所になっている。6/30の午前中に自由ヶ丘町会の避難訓練をするので、しばしば副校長先生と話し合っている。新校舎とその奥にできるテニスコートは避難所に提供できると聞いている。両敷地の間の道路は交通量もあり、万一事故が起きると困るので渡り廊下にしたと聞いた。玉川聖学院の出身で近くに住んでいるが、ブリッジにいまは違和感はない。自由ヶ丘学園のブリッジは圧迫感もあり、地元の人にはしばらくの間はストレスを感じるかなと思っている。副校長からは直せる部分は直すと聞いている。

- 議長 ありがとうございます。学園と地域が共存して、良い関係をつくっていったらと思う。
- 林 街並み景観賞の授与を 9/28 にこの場でした。その後で関連記事が自由が丘のガイドブックに掲載されたので紹介する。次の景観賞は 3 年後を予定している。報告を終わります。

## 2. 自由ヶ丘スタイルの自転車との付き合い方を考える

- 議長 まち構造研究会の溝口さんがお子さんの急病で来れなくなったので、林さんに代行してもらいます。
- 林 まち構造研究会はまちづくりをやっている人たちが自由に意見交換をしている。その中で自由が丘の自転車のあり方について議論していることを紹介して、みなさんからもご意見をいただきたいと思っています。

(\*スライドの説明は多岐にわたっているが、その一部を示す。資料は HP から参照可能である。)

- 議長 ご意見等をお願いします。
- 自由が丘では自転車を留める所を見つけるのが難しい。近隣で成功しているのは武蔵小山がある。駅の傍に駐輪場がいくつもあり、アーケード街では押しチャリが実施されている。自由が丘で駐輪している自転車の状況は消防の側からは特に問題はない。消防車などは自転車を動かして対応することになる。
- 自転車は車両である。乗る人は法律を守らなくてはいけない。例えば信号青でも、横断歩道上を自転車に乗って渡ることは違反である。提案を 3 つしたい。

①歩行者天国時に、駅前広場で自転車教室を開く。

②武蔵小山の押しチャリ推進に努力した人たちや住民にヒアリングしてもらいたい。必要な場所では押しチャリは重要だ。今日ここに来るときに、駅広の歩道を女の人がスピードを出して運転する自転車にぶつかりそうになった。先日は都立大の緑道付近で女性の自転車と老人がぶつかり、老人は腰を強く打って、立ち上がるができなかった。あわてている女性にすぐ救急車を呼ぶように話し、救急車がまもなく来たことを確認した。

③ちょっと駐輪場について、三井住友銀行前の広場、営業してないときの緑が丘文化会館等の区有地、空き店舗の民有地の活用を検討したい。

●三井住友銀行前の広場では、短時間の駐輪が見られる。スイーツフェスタの前の土曜日の午後トラックがきて 20 台位が撤去されるのを見た。いまはコーンとバーがいくつも並んでいるが見苦しく感じている。広場の南側にベンチがあるが、それを少し北側に動かして駐輪できるスペースを作ったらと思う。あの広場を暫定的にでも上手に利用できるように検討したい。

## 自転車利用の課題



- **走行空間**については、空間の確保や速度のコントロールなど、歩行者・自動車との錯綜をいかに抑えるか。
- **駐輪**については、空間確保、長時間利用の抑制。特に、通勤・通学の鉄道末端のみでの利用は、ボリュームが大きい反面、街への直接的なメリットは小。
- **マナー**については、交通ルールの遵守以前に、周囲への思いやりが欠如？
- **自転車を持つ可能性**について、低炭素、健康増進に加えて、シェア事業など新たな利用形態も

2

分類	ハード	ソフト
はしる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 走行空間の分離・明示</li> <li>● シェアドスペース化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ルール遵守の働きかけ</li> <li>● 独自ルール(押しチャリ等)</li> <li>● ゆずりあい、思いやり・・・</li> </ul>
とめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 再開発や連立での確保</li> <li>● 歩行者天国化 + プリンジ駐輪</li> <li>● 臨時的駐輪場</li> <li>● 民地側地先での確保 (ちよこつと置場)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 案内誘導</li> <li>● 区営駐輪場の時間貸導入</li> <li>● 課金 (通勤通学と買い物・送迎の差別化)</li> <li>● 附置義務の減免と代替</li> <li>● 代替策との組合せ (カートの貸出等)</li> </ul>
いかす	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 充電</li> <li>● シェアステーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自由が丘の独自性</li> <li>● ブランド化・イメージ戦略</li> <li>● 利用者のプライドに訴える？</li> </ul>

(曜日・時間を限定するのもあり)

- 議長 10年以上前だったが、買い物に自転車できた人にデザインした厚紙のカードをお店で配り自転車のかごに入れて判別できる取組を実験的にした。いまは実施されていない。なぜうまくいかなかったか振り返ってみたい。
- お店にカードを配って協力を頼んだことは覚えているが、その後のことはわからない。
- 議長 127号線の整備に関して、駅広は押しチャリにしてほしいので、それを推進する取組をしようとしたが進んでない。
- 係長 去年、サンセットエリアを中心にウォークブルなまちを想定する社会実験をした。押しチャリの推進のために声かけや掲示を工夫して実施した。ほとんどの人が協力してくれた。駐輪しようとする人には「ここには置かないでください」と言うと、動かしてくれる人が多かった。区でも押しチャリをしてもらう取組を続けたいと思っている。三井住友銀行の前が区の所有になったときに暫定的に小さな駐輪スペースがあるといいと、区とまち構造研との話し合いの場でもあった。区有地の短時間での駐輪に関して検討してみたい。
- 議長 まち構造研の報告には、武蔵小山でのヒアリングも含め、今日出た課題を検討して盛り込んでほしい。再開発で生まれる歩行空間に自転車が置かれたら何にもならないので、いまから対策を考えておくのがよい。自由が丘スタイルを工夫したい。
- まち構造研としては活動を提案して、未来ビジョンの活動の一つとして区を含めた各方面と協力して取り組みたいと思っている。自転車は車両だが、通行上であいまいな部分もある。法律として規定されていることを知り守ってくれるように、講習を受けた人にはエンブレムを渡すなどして、協力者を増やしたい。
- 城南信用金庫前の交差点にも時々警察官に立ってもらって、違反者に注意してもらいたい。
- 議長 今日はいろいろ貴重な提案をいただいた。直ぐにできることばかりではないだろう。まち構造研には活動を提案して取り組んでもらいたい。  
その他は無いようなので本日の第145回まち運営会議を終了します。ありがとうございました。